

クリーン環境開発株式会社

2023年度環境経営レポート



作成日： 2024年12月1日

改訂日： 2024年12月1日

目次

表紙		P 1
目次		P 2
I 環境経営方針		P 3
II 組織の概要		P 4～7
III 環境目標とその実績		P 8
IV 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の目標及び取組内容		P 9～10
V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無		P 11
VI 代表者による全体評価と見直しの結果		P 11
VII 産業廃棄物処理組織の概要		P 12～14

はじめに

弊社は、2005年に旧社名の三共建材(有)から商号変更すると同時に、本格的に産業廃棄物処理業へ参入いたしました。以来、地域と時代のニーズに合わせ、取り扱い品目および設備を増強し、より安全で環境負荷の少ない処理方法をお客様と共に考え、共に発展することに努めてまいりました。

昨今、地球環境への影響を永続的に低減することが強く求められる中で、特に産業廃棄物処理業者は真の循環型社会の構築を目指すことこそが企業としての責務であると私達は考えます。

今後も持続可能な社会の実現に向けて、地域の発展へ貢献できるようより一層努力し、存在意義の高い事業展開と自然と調和した企業価値の創造を目指してまいります。

環境経営方針

環境理念

クリーン環境開発株式会社は青森県南部に位置し、西に八甲田山を望む奥入瀬川下流の自然豊かな地域に立地しています。地域の人々が守り育んできた環境を未来の子供たちに引き継げるように、環境に配慮した経営を行います。社員一人一人の環境や業務、健康に対する意識を高めることで、地域やお客様の満足度が向上するよう努めます。業務の改善見直し等を通して、再生可能エネルギー事業や高リサイクル率の実現、新技術の取入れなど、持続可能な社会の実現に向けて取り組みます。

行動指針

- 1 環境に配慮した事業活動を行い、環境負荷の低減・維持管理を実施します。
 - * 騒音・振動の規制値内維持
 - * 化学物質及びオイル等の流出防止
 - * 粉じんの飛散、汚水流出の防止
 - * 廃棄物の適正処分及び、リサイクルの実施
 - * 生物多様性を考慮した企画の提案
 - * 再生可能エネルギー事業の推進による温室効果ガスの排出抑制
- 2 中間処理における、最終処分率の削減、リサイクル率向上、環境・健康リスクの低減・現場作業の効率化に努めます。
- 3 社内における省資源、省エネ、節水及びグリーン調達に努めます。
- 4 安心・安全で迅速な産業廃棄物処理をお客様に提供いたします。
- 5 事業活動に関連する法規制等は、確実に遵守することを誓約いたします。
- 6 地域活動、環境保全活動への参加、環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。

制定日：2011年10月11日

改訂日：2023年4月1日

クリーン環境開発株式会社
代表取締役専務 大島 重篤

組織の概要

1 名称及び代表者名

組織の名称 クリーン環境開発株式会社
代表者 代表取締役社長 丸井 理成
代表者(EA21責任者) 代表取締役専務 大島 重篤

2 所在地

本社・石膏汚泥処理施設 青森県十和田市大字伝法寺字金目4-9 従業員19名、916.96m³
がれき類破碎処理施設 青森県十和田市大字相坂字上鴨入122-1
太陽光ソーラー発電所 青森県十和田市大字相坂字下タ川原地内
風力発電所 青森県上北郡野辺地町地内

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 係長 蛸名 紘絵
TEL 0176-20-8077 / FAX 0176-28-2007 / e-mail clean-e@crest.ocn.ne.jp

4 事業活動の内容

産業廃棄物収集運搬業 北海道 00100097860 福島県 00707097860
青森県 00200097860 栃木県 00900097860
岩手県 00300097860 群馬県 01000097860
宮城県 00400097860 埼玉県 01100097860
秋田県 00501097860 千葉県 01200097860
山形県 00609097860 東京都 1300097860
神奈川県 01400097860
産業廃棄物処分業（中間処理） 青森県 00220097860
八戸市 12221097860
太陽光発電事業
風力発電事業

5 事業の規模

処理量 28374.07 t
従業員数 本社19名(常勤役員含む)
延床面積 916.96m³
太陽光発電量 2062660kwh
風力発電量 96283kwh

6 対象範囲（認証・登録範囲）

産業廃棄物収集運搬業・処分業・太陽光発電・風力発電・ウォータージェット

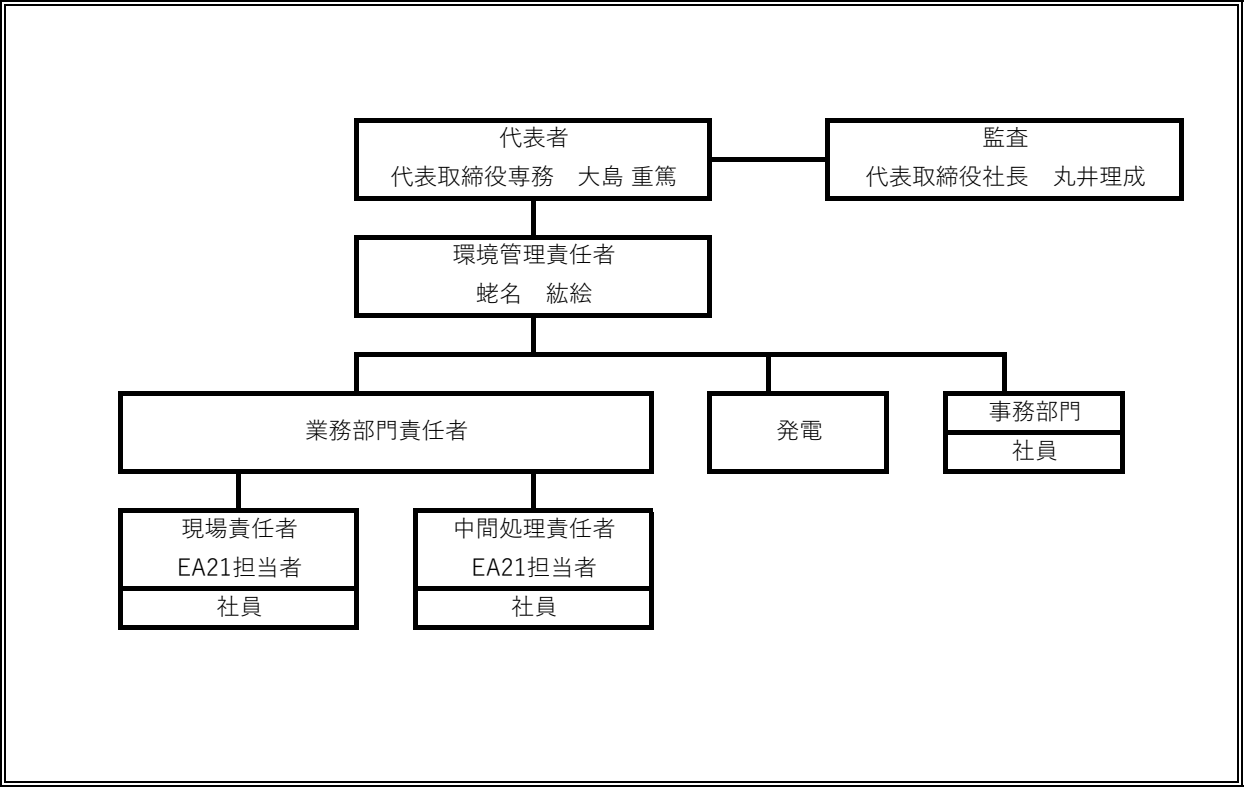
7 事業年度

4月～3月

8 環境活動レポートの対象期間（発行日）

2023年4月1日～2024年3月31日（令和6年12月1日）

クリーン環境開発株式会社 EA21実施体制図
(2023年度)



環境経営システム

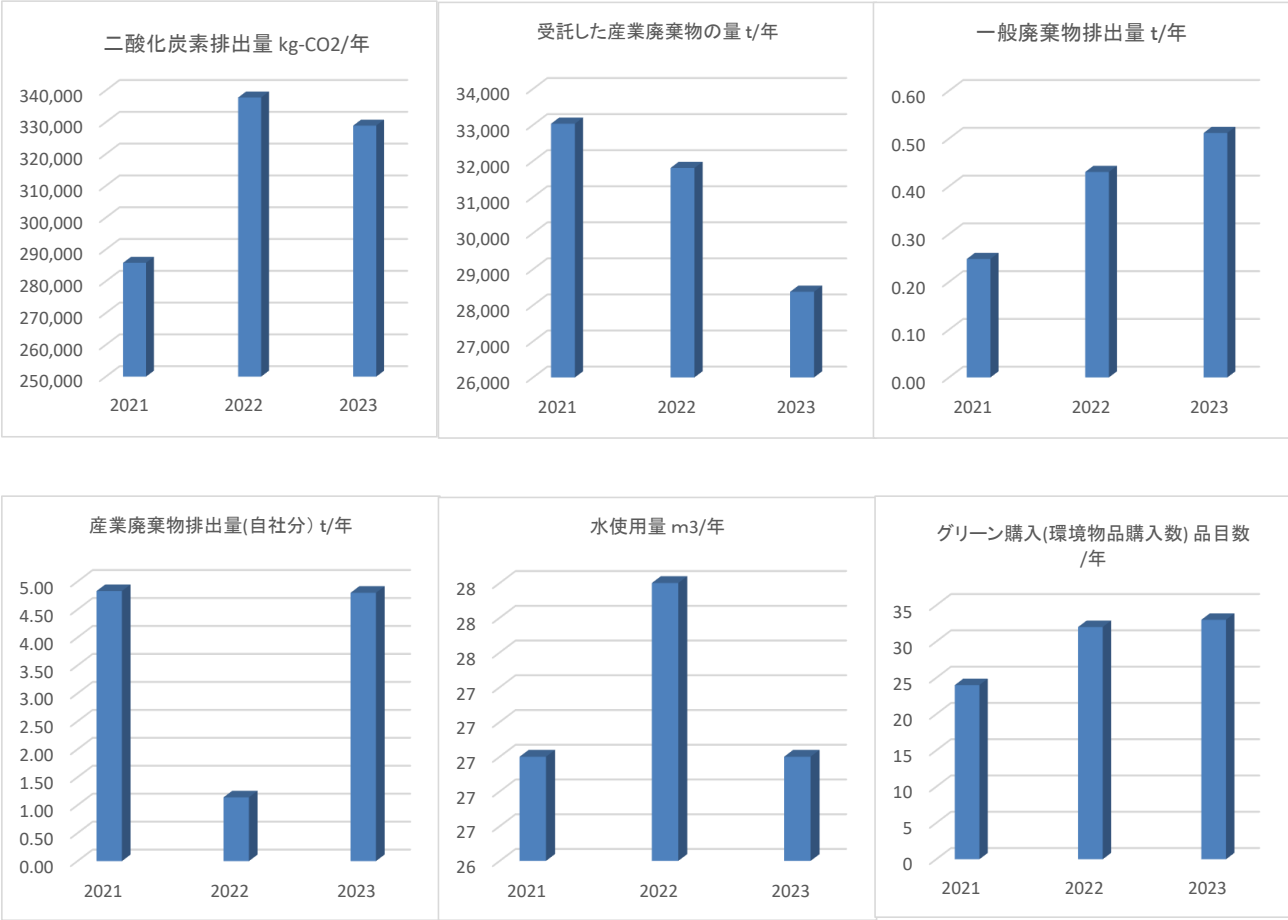
職名（氏名）		役割・責任・権限
代表者		・ 環境経営に関する統括責任。 ・ 経営における課題とチャンスの明確化 ・ 環境経営方針の策定 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、資金、情報を準備。 ・ 実施体制の構築。 ・ 全体の評価と見直し・指示
代表取締役専務	大島 重篤	
環境管理責任者		・ 環境経営システムの構築、実施、管理。 ・ 問題点の是正、予防処置の指示・確認。 ・ 環境経営活動の取組状況を代表者への報告 ・ EA21推進委員会の事務局。 ・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成。 ・ 環境活動チェック表等の実績集計。 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
係長	蛭名紘絵	
部門責任者および現場責任者		・ 所管事項について環境経営システムを実施し、維持する。 ・ 環境経営方針の部内への周知。 ・ 教育訓練の実施 ・ 環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 ・ 緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練の実施、記録の作成。 ・ 問題点の発見、是正、予防処置の実施。
部門責任者 処分場	小笠原佳 山内賢弥	
全従業員		・ 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。 ・ 環境活動の積極的な提案。

主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項 目	単位	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	285,791	337,780	328,941
受託した産業廃棄物の量	t/年	33,032	31,807	28,374
一般廃棄物排出量	t/年	0.25	0.43	0.51
産業廃棄物排出量(自社分)	t/年	4.83	1.14	4.80
水使用量	m ³ /年	27	28	27
化学物質使用量	t/年	0	0	0
グリーン購入量(環境物品購入数)	品目数/年	24	32	33
地域貢献活動	件数/年	2	2	2

購入電力の排出係数は、令和元年度実績 R2.1.7環境省・経済産業省公表 調整後排出係数USEN0.588東北電力0.528



環境経営目標の設定

当社では、環境目標を表2のとおり設定し、環境負荷の削減等に取り組んでおります。

表2 環境経営目標（2023年度～2025年度）

コア指標	環境方針	環境目標項目	削減率又は増加率（％） 単位	基準年度 基準値	年度毎目標値 （基準年度に対する削減(増加)）		
					2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	削減率（％）	2022年度	3	5	7
			k w h	90,333	87,623	85,816	84,010
		灯油の削減	削減率（％）	2022年度	3	5	7
			L	919	891	873	855
		ガソリンの削減	削減率（％）	2022年度	3	5	7
			L	2,986	2,896	2,837	2,777
		軽油の削減	削減率（％）	2022年度	3	5	7
			L	105,686	102,515	100,402	98,288
		二酸化炭素排出量の削減	削減率（％）	2022年度	3	5	7
			kg C O ₂	329,847	319,952	313,355	306,758
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	削減率（％）	(目標設定平均914.17g/1人1日×3=304)約300g/1人×18人×22日×12月	3	5	7
			t	1.43	1.38	1.35	1.33
	産業廃棄物の削減(自社分)	最終処分（埋立）量の削減	削減率（％）	2022年度	3	5	7
			t	3.39	3.29	3.22	3.15
水使用量	節水	節水	削減率（％）	2022年度	3	5	7
			m ³	28	27.16	27	26
化学物質		化学物質の管理推進	削減率（％）	kg	化学物質を使用する場合は、漏洩等が無いよう適正に管理し、定期的に確認します。		
グリーン購入	グリーン購入の推進	環境に配慮した事務用品等の使用を推進	品目数		事務用品等については、環境物品の購入・使用に努めます。		
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		収集運搬作業における環境配慮推進			エコドライブ10のすすめにのっとり環境負荷の少ない運転をする		
		受託した産廃のリサイクル率向上	再資源化率（％）		分別の徹底を行い最終処分場に委託する産業廃棄物を削減する。		
		処分作業における環境配慮推進			環境負荷の少ない廃棄物の処理処分を行い、定期的に確認する。		
地域貢献	地域貢献活動の推進	清掃活動等	増加率（％）	2022年度	-	-	-
			件数	2	2	2	2

購入電力の排出係数は、－R3年度実績－ R5.1.24 環境省・経済産業省公表

東北電力㈱の調整後排出係数0.457kg-CO2/kWh（株）U-POWER調整後排出係数0.491kg-CO2/kWhを使用しました。

環境目標とその実績

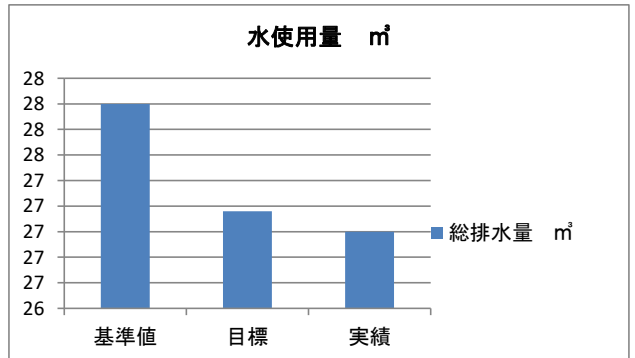
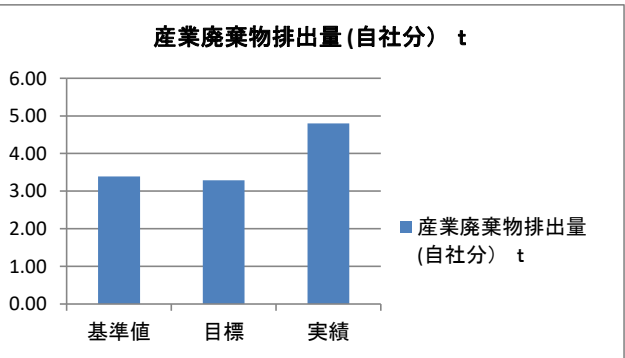
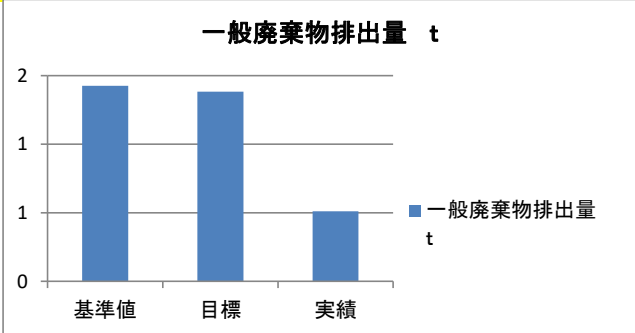
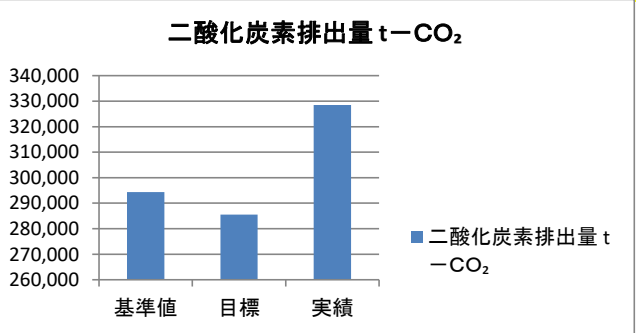
当社は、主に産業廃棄物処理などを中心とした事業活動を行っており、環境負荷は、表1の通りです。
 二酸化炭素排出量については、電力では廃石膏ボード破砕機、軽油では処理用重機、収集運搬車両等が主なもので、令和5年度、328941kg-CO₂/年です。二酸化炭素排出量では軽油の使用量が増加したため目標を達成できなかった。
 化学物質の仕様はなく水使用量は、ほぼ例年を維持している。産業廃棄物の受託に関しては、電力を使用する石膏ボードの受託が少なかったが、他は例年並みの受入量だった。

表3 当該年度の環境目標の達成状況等

コア指標	環境方針	環境目標項目	単位	基準値 基準値	2023年度			環境目標の 達成状況
					削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
二酸化炭素 排出量	省エネルギー の推進	電力の削減	k w h	2022年度 90,333	3%削減	87,623	91,294	未達成
		灯油の削減	L	2022年度 919	3%削減	891	540	達成
		ガソリンの削減	L	2022年度 2,986	3%削減	2,896	1,769	達成
		軽油の削減	L	2022年度 105,686	3%削減	102,515	106,356	未達成
	二酸化炭素排 出量の削減	二酸化炭素排出量 の削減	kg C O ₂	2022年度 294,380	3%削減	285,549	328,456	未達成
廃棄物排出 量	一般廃棄物の 削減	ごみの削減	t	1.4256	3%削減	1.3828	0.5110	達成
	産業廃棄物の 削減(自社)	最終処分(埋立) 量の削減	t	2022年度 3.39	3%削減	3.29	4.80	未達成
水使用量	節水	節水	m ³	2022年度 28	3%削減	27	27	達成
化学物質		化学物質の管理推 進	kg	・化学物質を使用する場合は、漏洩等が無いよう適 正に管理し、定期的に確認します。				
グリーン購 入	グリーン購入 の推進	環境に配慮した事 務用品等の使用を	品目数	・事務用品等については、環境物品の購入・使用に 努めます。				
受託した産業廃棄物の収集 運搬・処分における環境配 慮		収集運搬作業にお ける環境配慮推進		・分別の徹底を行い最終処分場に委託する産業廃棄 物を削減する。				
		処分作業における 環境配慮推進		・分別の徹底を行い最終処分場に委託する産業廃棄 物を削減する。				
地域貢献	地域貢献活動 の推進	清掃活動等	増加率(%) 件数	2	10%増	2	2	達成

購入電力の排出係数は、ーR3年度実績ー R5.1.24 環境省・経済産業省公表

東北電力㈱の調整後排出係数0.457kg-CO₂/kWh (株)U-POWER調整後排出係数0.491kg-CO₂/kWhを使用しました。



環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の目標及び取り組み内容

環境活動計画については、単年度の環境目標に対応した具体的な取組の内容（達成手段）を表4の通り作成した。

なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。

電力の使用については冷暖房の温度設定をこまめに調整したり、不必要な電気の使用を控えた。

石膏ボード破碎機の清掃を定期的に行い維持管理を徹底して行い電力の二酸化炭素排出量削減に貢献した。

軽油の使用量は車両の増加などで目標の達成が出来なかった。次年度は目標の見直しが必要。

表 4 主な環境経営計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況 の評価	取組み結果	次年度の目標 (2024)	次年度の取組内容		
二 酸 化 炭 素 排 出 量 削 減	電力の二酸化炭素の削減	①事務室等の昼休み残業時不必要な時は消灯している	○	石膏ボード破碎機の定期的な清掃活動を行った	項目 CO ₂ 合計 基準値 91,262	次年度は、重機等の二酸化炭素排出量の削減を念頭に置き燃費向上のために定期的な車両点検整備やアイドリングストップなどにより燃料削減を図る。		
		②空調管理の徹底（冷房28℃、暖房20℃）						
		③不使用機器の待機電力カット						
		④廃石膏ボード破碎機の定期的付着粉除去						
		⑤不要照明の消灯						
	重機等の燃料の二酸化炭素削減	①エコドライブ等運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等）を励行している	○	エコドライブ運転、不必要なアイドリングのストップなどエコ運転を行った	削減率 3% 目標値 85,468 東北電力㈱の調整後排出係数0.385kg-CO ₂ /kWh（株）U-POWER調整後排出係数0.492kg-CO ₂ /kWh			
		②燃費向上のための車両整備						
		④低燃費車の導入						
		⑤給油量・走行距離等の記録						
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①暖房温度（暖房20度程度）の設定管理を徹底している	○	二時間に一度室内温度を確認した				
②室温時計を設置しこまめに温度管理をする								
廃 棄 物 排 出 量 削 減	一般廃棄物の発生抑制	①帳票簡略化、配布資料など印刷物の削減	○	ペットボトルや空缶は分別する為のゴミ箱の設置をした	項目：一般廃棄物 基準値1.43 削減率3% 目標値 1.35	次年度は、リサイクル出来るものをごみにしないなど再度周知確認徹底する。		
		②適切な選別作業の実施						
		③ミスコピー防止など紙類の廃棄物の減少につとめる						
		④混合廃棄物としないよう徹底している						
	産業廃棄物(自社分)の適正処理	①廃棄物の分別を行っている。	○	仕事量により増減があるのが、分別の徹底をすることで削減する	項目自社分 基準値3.39 削減率3% 目標値 3.22			
		②再利用できるものは、処分せずに整理保管している						
		③廃棄物管理票をもとに廃棄物の適正な処理を行っている。						
水 使 用 量 削 減	節水	①処理工程で使用する水を再利用するための設備を設置する	○	水の出っぱなしに気を付ける	項目 水使用量 基準値 28 削減率3% 目標値 26	水資源の節水に努める。		
		②水道配管から漏水を定期的に確認している						
		③水道水はバルブで水量・水圧の調節を行っている						
		④手洗い時など日常的に節水の励行						
	排水処理	①浄化槽を設置し、排水を適正処理している	○	浄化槽を使用している				
		②異物の混入を避けるようにしている						
	化学物質の管理推進		①化学物質はほとんど使用しないが、使用する場合は使用量のみの購入とし在庫はしない。使用した場合は記録しておく。	-	今期、化学物質の使用実績が無かった。		継続する	使用することがあれば必要最低限の使用にとどめる
			②屋外での除草剤、殺虫剤の使用削減					
グリーン購入		①環境ラベル認定品などを優先的に購入している	○	下調べが大事	継続する	情報収集をする		
		②環境に配慮した物品等の購入、使用している						
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分作業における環境配慮推進		①再資源選別ヤードをもうける	○	受入時、排出時どちらもできている	継続する	中間処理が本業なので、管理をしっかりと継続する		
		②再資源化、有価物化の推進						
		③廃棄物管理票と運搬物が一致するか確認している。						
		④廃棄物受入時の計量をしている。						
		⑤廃棄物受入時の廃棄物確認を徹底し処理できないものは帰している						
騒音・振動防止等の取組		①騒音防止の為、処理施設は建屋内に設置している	○	作業時と重機の移動時は特に気を付けている	継続する			
		②騒音防止で処理施設は近隣の住宅から離れた場所に設置している						
		③振動防止の為、バックホウのクロー部分はゴム製のものに変更している						
		④騒音・振動防止の為構内制限速度は20km/hとしている						
・環境コミュニケーション ・社会貢献 ・その他		①不法投棄パトロール・撤去キャンペーンへの参加	○	コロナで自粛気味だった	社会貢献活動を積極的に行う	貢献活動は、年2回は行いたい		
		②地域小学校の清掃活動						
		③事務所周辺の植栽等に努めている						

○：評価出来る、△：まずまず評価できる、×：評価できない

環境活動 社内活動の状況

地域ボランティア

○地域小学校の春の清掃活動で構内泥上げのお手伝いをしてきました。



社内におけるエコ活動

○敷地内にバイオトイレを設置しましてエコ活動に取り組んでおります。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等について一覧表に取りまとめ遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

住民等からの苦情もありませんでした。

また、過去３年間、関係当局からの違反等の指摘、訴訟について、問題ありません。

法規制の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物の収集運搬業許可、産業廃棄物処分業許可	○
	産業廃棄物処理施設の設置許可	○
	産業廃棄物の収集運搬に関する基準	○
	産業廃棄物の処分にに関する基準	○
	産業廃棄物の保管基準、届出義務等	○
	産業廃棄物の委託基準	○
	産業廃棄物管理票および電子情報処理組織の使用	○
浄化槽法	設置届出、保守点検、清掃	○
大気汚染防止法	一般粉塵発生施設の届出、管理基準の遵守	○
騒音規制法	規則基準の順守	○
振動規制法	規則基準の順守	○
フロン排出抑制法	フロン類の漏えい防止措置、簡易点検および定期点検、	○
	点検および整備に関する事項	○
道路交通法	安全運転管理者の選任・交通安全教育の実施	○
資源の有効な利用の促進	廃棄物の３Ｒの推進	○
グリーン購入法	環境物品等を選択するよう努める	○

代表者による全体評価と見直しの結果

弊社では近年車両や人員を増加しており、結果としては未達成が続いております。しかしエコアクション21に

ついて取り組みをした結果、確実に従業員の環境保全に対する意識の向上が図られております。

次年度は車両や人員の増加を見越した目標設定を行い、より有効的に取り組んでいきたいと思っております。

廃棄物処理に係る組織の概要

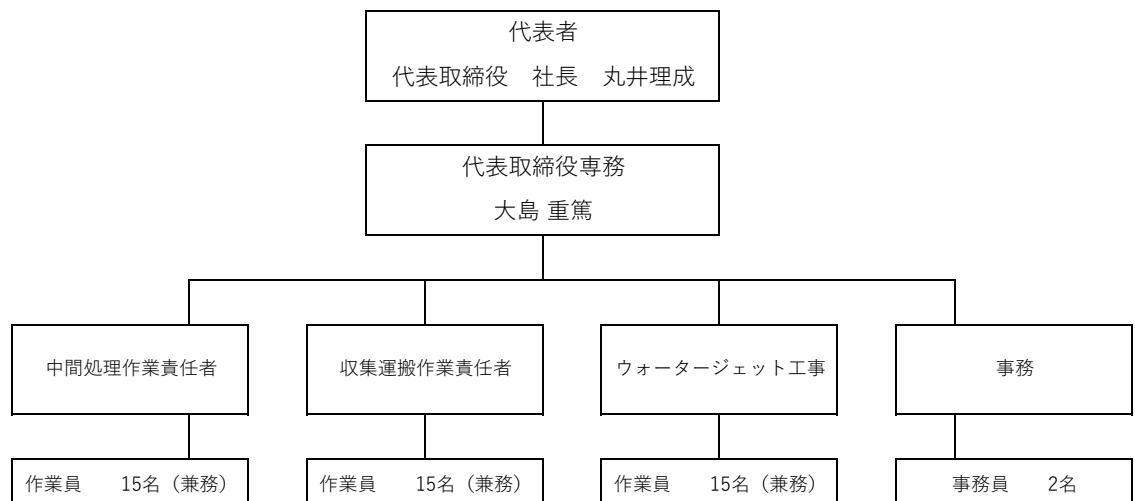
事業所名		クリーン環境開発株式会社							
代表者名		代表取締役 丸井 理成							
所在地		〒034-0051 青森県十和田市大字伝法寺字金目4番地9							
代表者名		代表取締役専務 大島 重篤							
環境管理責任者		係長 蛸名 紘絵							
連絡先		電話	0176-20-8077		ファクス	0176-28-2007			
		E-mail	clean-e@crest.ocn.ne.jp						
		UCL	http://cleankankyo.com/						
事業活動の内容		産業廃棄物（収集運搬業・処分業） 太陽光発電・風力発電							
（2022年度） 事業の規模	品 名	がれき類	汚泥	廃石膏ボード	廃プラ				
	収集運搬量 t	0	4059.82	13.31	0	4073.13			
	処分量 t	7561.34	23021.97	1220.67	2.71	31806.69			
	最終処分量 t	21.86	0	0	0				
法人設立年月日 昭和42年4月10日			資本金 3500万円			売上高 727,017千円			
設 備	設備名	産廃の種類・能力		台数	設 備	設備名	産廃の種類・能力		台数
	大型バキューム車830	運搬許可範囲による・風量70・水冷		1		タイヤショベル	汚泥・がれき類・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃石膏ボード、廃プラスチック類・0.7m3		2
	大型バキューム車1079	運搬許可範囲による・風量40・水冷		1		バックホー	がれき類・0.7m3 汚泥・0.8m3		1
	大型バキューム車1235	運搬許可範囲による・風量80・空冷		1		ワゴン車	移動用		2
	大型バキューム車1360	運搬許可範囲による・風量80・空冷		1		フォークリフト	廃石膏ボード・汚泥・2t		1
	4tユニック車9962	運搬許可範囲による2.8t最大		1		破砕機	がれき類・800t/日		1
	6tユニック車2886	クォータージェットダンプ搭載6t最大		1		破砕分別機	廃石膏ボード・16t/日		1
	6tユニック車3400	クォータージェットダンプ搭載6t最大		1		土質改良機	汚泥・1360m3/日		1
	10t深ダンプ3090	運搬許可範囲による9.01t最大		1		トラックスケール	汚泥・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、廃石膏ボード、廃プラスチック類・40t		1
	高圧洗浄車371	高圧洗浄車		1		トラックスケール	がれき類・積載40t		1
	管内調査カメラ車	管内調査		1					

受託した産業廃棄物の処理量

2022年度

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬		汚泥		1294.92
		廃石膏ボード		144.65
収集運搬量合計				1439.57
中間処理		がれき類	破碎	8431.57
		廃石膏ボード	破碎分別	1728.4
		汚泥	造粒固化	18214.09
		廃プラスチック類	破碎	0.01
うち再資源化等		がれき類		8410.27
		廃石膏ボード粉		1512.16
		汚泥		18214.09
		再資源化等量小計		
中間処理合計				28374.07
最終処分				
最終処分量合計				0.00
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	がれき類	再生不可) 管理型最終処分場へ委託	21.30
		最終処分計		21.30
	(再資源化等) 中間処理	路盤材・鉄筋	販売	8410.27
		石膏分別後紙くず	委託焼却	216.24
		石膏分別後粉	販売再資源化	1512.16
		再生改良土	販売	18214.09
		廃プラスチック	委託焼却	0.01
			再資源化等量小計	
中間処理後処分量合計				28374.07

クリーン開発株式会社組織図



産業廃棄物処理工程図

廃棄物の種類	品目	処分方法	再生等・処分方法
がれき類・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	コンクリートがら	破碎	再生路盤材として売却
	アスファルトがら	破碎	再生骨材として売却
	その他がれき類	破碎	再生路盤材として売却
廃プラスチック類	塩化ビニール管	破碎	選別破碎後売却
	固形状プラスチック類		埋立処分
汚 泥	汚 泥（無機性に限る）	造粒固化	再生改良土として売却
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（廃石膏ボードに限る。）	廃石膏ボード	破碎分別	石膏粉は自社利用
			廃石膏ボード分別後の紙くずは委託処分。焼却焼成後の燃え殻は固形燃料・セメント原料としてリサイクル又は埋め立て処分

クリーン環境開発株式会社 産業廃棄物処理業許可一覧

区分	自治体	許可番号	有効期限	1 燃え殻	2 汚泥	3 廃油	4 廃酸	5 廃アルカリ	6 廃プラ	7 紙くず	8 木くず	9 繊維くず	10 ゴムくず	11 金属くず	12 コガラ ンクス リ陶 磁 ト器	13 がれき類	14 鉱さい	15 ばいじん
処分	青森県	00220097860	R6.12.16	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-
	八戸市	12221097860	R9.12.16	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
運搬	北海道	00100097860	R10.9.14	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○
	青森県	00200097860	R9.8.22	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○
	岩手県	00300097860	R6.10.28	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宮城県	00400097860	R9.5.18	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○
	秋田県	00501097860	R8.7.31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	山形県	00609097860	R10.7.27	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	-
	福島県	00707097860	R9.12.14	○	◎	○	-	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○
	栃木県	00900097860	R10.8.9	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○
	群馬県	01000097860	R10.10.1	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○
	埼玉県	01100097860	R10.6.21	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○
	千葉県	01200097860	R10.5.21	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○
	東京都	1300097860	R10.7.13	-	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	-	-
	神奈川県	01400097860	R10.6.6	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	○	○

※ ◎ 石綿含有産業廃棄物含む